

内閣 国立白門会ニュース

第19号

国立市富士見台1-1-201

村田 亘 75-2020

印刷

真美巧芸 37-2536

学員会創立百周年

記念式典に出席して



副幹事長 風間 俊範

昭和六十三年十月二十一日に創立百周年を迎えた学員会は、十一月二十日(日)に記念式典をお茶の水スクエア「カザルスホール」で、祝賀会を

十一月十六日に落成式を行った。中央大学駿河台記念館で開催の運びとなった。

国立支部からは記念式典に村田支部長・井上副支部長・丸本幹事長・市橋顧問それに筆者も二日後に控えた十何回目の結婚記念日のセレモニーも兼ねて夫妻で出席を、お祝い気分のなかにも厳肅な雰囲気のもとにおこなわれた。記念式典で、圧巻だったの

は(株)そごう取締役社長の水島廣雄氏の講話であった。その全文は今年の一月二十五日号の「学員時代」に掲載されているので周知の事と思いますが、その講話の迫力が聞く者の心をとらえ、どんどんと話に引き込み武者震いがおきるような素晴らしさでした。大学の百周年記念事業の寄付者が、三十六万人卒業生のうちわずか七%でしかなかった事、逆に言えば三十六万人のエネルギーが結集すれば学員会の存在実力は計り知れないものになるという事、「いい大学」は母校を愛する精神をもった教授と卒業生が多くいる大学である事、更に地位も名誉も年令も職業も全て超越した一つのオアシスが学員会の支部である事等その他列挙したらきりが無い程出席者に感銘を与え、最後に「存在は



よきかな」というトマス・アクイナスの言葉で終った時、拍手は鳴りやみませんでした。祝賀会には能味広報部長・田口会員も参加し他支部との交流も祝宴のなかで行なわれ、楽しく有意義な一時を過ごすことができました。

雨の駿河台に熱気ムンムン

学員会創立百周年記念行事

学員会が次なる世紀に向けて踏み出す十一月二十日(日)、気温も低く朝からの雨に見舞われたが、私たち国立白門会の仲間、新築成った見事な駿河台記念館の三階会場で創立百周年の喜びを共にすることができた。十一時半早めに着いた私は、内装も素晴らし

ざわいの様子だった。さて学員会創立百周年記念式典が行われたお茶の水、カザルスホールから、式典参列の村田支部長、ほかの皆さんが気分を高揚させてこちらの祝賀会に移動してみえたのが十二時すぎ。メインの祝賀パーティーは二階大会議室で開かれ極めて盛況りに進行していたようだが、私たちは三階の学生会室に上った。テーブルを囲み、式典のお話を伺ったり、飲み物も十分に、きれ



学員会祝賀会

いなコンパニオンのサービスもよく華やかなムードを味わった。国立からは、前記の方々のほか田口正明氏、そして風間夫人も同席されるという家族的交歓がいつそうこのパーティーを身近なものにしてくれた。各会場ともに地方からご夫妻一緒のご高令会員も目立ち、お孫さんづれの会員もいたりで何ともいえないいい雰囲気を感じていた。私は、三栄信用組合の竹内富男氏と出会ったが、若い彼は、今住んでいる小平地区の白門会作りを考えて市役所の皆さんたちと準備を進めていくとのうれしい話を聞かせてくれ、私たち一同のため写真をとってくれたりして有りがたいことだった。また山梨支部の青柳氏や南甲倶楽部の専務理事の坂本幸男氏にもお目にかかる折もあってこの集まりは一段と有意義なものになった。一同は、二階の「中央大学の歩み展」をのぞいたり、福引の抽せん会の発表を確かめたりして退出。(どなたもダメだった) 帰途、お茶の水駅への通りにある高級喫茶店「滝沢」でうまいコーヒーをたのしみつつ、頂いた記念品の小牛皮特製名刺入れやテレカードを手にし、きょうの出来ごとを愉快に語り合ったことだった。国立駅に戻ったのは午後三時半近かった。(寿)

平成元年初の新年会開催

副支部長 福谷 実

箱根駅伝で中大が三位に躍進し、めでたく昭和六十四年が明けたのであるが、大行天皇の崩御により、国民哀悼のうちに迎えた平成元年の一月二十一日、午後六時、毎年お世話になっている割烹信濃路で三十一名の参加を得て新年会が催された。

谷市長、中西旭先生のお顔は見えなかったが、酒井、市橋両顧問はお元気で出席してくださいました。

第一部は、山崎厚生部長の司会でスタートした。

福谷副会長の開会の辞、村田会長の挨拶のあと、酒井顧問から祝辞を頂き、市橋顧問の音頭で乾杯。

参加者全員によるユニークな自己紹介があり、懇親の座に花が咲いた。

酒井顧問からは、十一年目を迎えた国立白門会の今後の発展は、若い世代の会員を如何に獲得できるかにかかっている。頑張っしてほしいと激励された。

市橋顧問からは、村田会長の中大委員会本部の委員会での活躍を紹介された。

岡田画伯からは、土屋参議院長と懇談された際、三〇号の絵を寄贈したところ、参議院蔵として院内に飾られることになったとのエピソード

文化講演会

三多摩地区連絡協議会の会長を務めることとなり、その目的にもあるように、地域社会の発展と大学の興隆及び学员相互の親睦に寄与できる行事として下記の講演会を開催いたします。

- 1. 日時 時 平成元年10月13日 (金)
開場 午後6時00分
開演 午後6時30分～8時
- 2. 講師 学员 俳優 丹波 哲郎氏
学员 落語家 三遊亭 龍楽氏
- 3. 会場 くにたち市民芸術小ホール
- 4. 主催 中央大学学员会国立支部
中央大学学员会三多摩地区連絡協議会
- 5. 他 車での来場はご遠慮願います。

の開陳があった。
井上正博市議は、昨年体調をくずし、入院加療されたが、今年元気で充実した議員生活をおくりたいとの決意が表明された。
風間副幹事長からは、今年国立白門会が計画している幾つかの行事を紹介され、全員一丸となって成功させたい旨の意欲的発言があった。
第二部は、小林厚生部副部長の司会で楽しい雰囲気の中で始まった。
時節柄、自粛ムードの中の宴ではあったが、いつもの

ことながら芸達者な会員ののどの素晴らしさには感心させられた。
なかでも、和服姿がよく似合う清楚な聖子会員(平本聖子さん)と山村鶴音事業部長との息の合ったデュエット、風間健、風間俊範両氏による風間A&Bブラザーズのお披露目、酒井顧問の詩吟「名槍日本号」の朗詠が圧巻であった。
午後八時、和気あいあいのうちに丸本幹事長の閉会の辞、山崎厚生部長の国立白門会と村田会長の活躍を期待しての万歳の三唱のあと、全員が輪になり、肩を組んで校歌を斉唱し、一夜の幕を閉じた。

中央大学学员会三多摩地区連絡協議会の幹事引き受け

今年度は同協議会規約第4条に基づき、当国立支部長が会長を務めることになりました。支部会員のご理解とご協力をお願いします。なお、お尋ねの件は風間副幹事長までご連絡下さい (TEL76-2951)。

創部五十周年記念特別演奏会

東京公演 平成元年5月28日(日) 2:00PM
武蔵野市民文化会館大ホール
料金 当日 1,000円 前売 800円
お問い合わせ 0423(72)3907 中島 0423(83)7403 秋山
演奏 中央大学音楽研究会マンドリン倶楽部

会費納入のお願い

年会費は白門会ニュースや名簿作成などの財源ですので、同封の郵便振替用紙で納入をお願いします。また、総会当日ご持参して下さい結構です。

年会費 2,000円

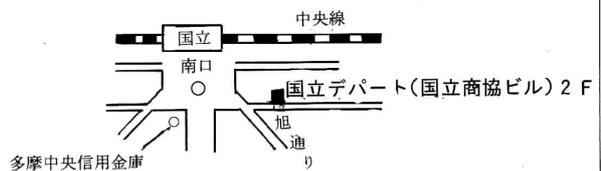
総会のご案内

下記により第12回定時総会を開催いたします。万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さるようご案内申し上げます。

なお、会場等の都合上、同封のハガキを5月15日(月)までに必ずご返送方よろしくお願いいたします。

記

- 1. 日時 5月21(日)午後4時までにご参集のこと
- 2. 場所 国立デパート2階 (国立商協ビル)
- 3. 議題 規約一部改正
役員改選
- 4. 懇親会費 3,000円当日ご持参下さい。



学員会の活性化のために

支部長
村田 亘



中央大学の卒業生は真面目で、実直なことが世間で認められながら、不人気がささやかれているのは何故であろうか。

大学と学員会とは表裏一体の存在であり、学員会の活性化を考えると共に大学自体の活性化をも考える必要がある。司法試験の合格率が他大学を圧していた中央は、今や東大の後塵を拝し、早大、京大と肩を並べ、また、抜群の合格率を誇った公認会計士試験も他大学に遅れをとっている。スポーツも王者であったのは昔話で、今や影が薄くなっている。

現在の若者は「特色ある大学」「魅力ある大学」に憧れている。質実剛健、家族的情味という伝統ある校風は時代にマッチせず、明朗闊達、質実剛健、家族的情味と、校風を改める時代が来ているのではなからうか。

伝統ある法科の中央を守る

と共に、全学部の実力アップ、イメージアップ、そしてOB達及び学生の愛校心の発掘を考えたい。

一、母校に対する要望

1. 大学の運営に携わる評議員は最初から選出の枠ができていないと聞くが、何等かの方法で全学員が参画できる方途を考えるとOBの母校愛に役立つと思う。

2. 法津関係は勿論だが、体育関係の選手発掘、PRなどに力を入れる。

3. 有名教授を招いたりして大学自体のPRも含めて、世間に対してインパクトを強める。

4. 就職の相談、斡旋を重視し、一層力を入れ、OBが母校愛を感じるようになる。

5. 「卒業すれば大学とは縁の切れ目」という学生が多いのに驚く。卒業してからも援助の手を差し伸べてほしい。学員時報購読者の外、卒業したら母校と全く無縁となる。

二、学員会の活性化のために

1. 学員会の充実発展のために組織率の拡大と支部活動の活性化を計る。

2. 地域支部は県単位となつていて所が多いが、各市に分会をつくり、支部昇格に努力する。分会のできない所には連絡員を置き、学員相互の連絡を密にし、親睦を計る。

3. 学年支部の数は極めて少ないが、同期生は最も容易に支部を結成することができる条件を備えている。偏に学員会本部の指導力如何による。

4. 学員会支部活動の活発な所ほど、母校に対する関心も高く、大学のPRにも役立っている。

5. 新しく職場別学員名簿を作成し、その存在を学員に知らせ、学員会本部で自由に閲覧できるようにする。

最後に母校の発展と興隆のために

一、地方に強いといわれている中央は、地方有力都市に附属高校を設置してほしい。二、理工学部土木学科はあっても建築学科がない。土木と建築は車の両輪であるから建築学科の新設を考えてほしい。



川村俊介氏めでたく「ゴールイン」

昨秋の新倉良平氏の挙式披露に続いて、二月十九日(日)の佳き日に、川村俊介氏が中林知恵子さんと華燭の盛典をあげられた。大学時代の恩師のご紹介によるといわれるが、式が行われた吉祥寺第一ホテルは、大学関係者の中に、地元から井上正博市議員も出席されて新カップルの晴れの首途をお祝いされた。当日、村田亘白門会会長名で祝電を差し上げており、新郎も心から感謝され、皆さんによるしくとのことである。

新居 調布市飛田給二一七
— 四 ホワイトハイッヰ三
TEL 四二四六六二七九

(注)川村会員は、四月一日付国立市役所の異動で、福祉事務所にかわられた。



川村夫妻

高橋夫妻



ナイスガイ

高橋雅幸氏も新生活へ!!

四月二十二(土)東京八重洲富士屋ホテルにおいて、高橋雅幸氏と横尾美紀さんの神前結婚式が行なわれ、引き続き桜の間で華やかな披露宴が開かれた。

媒妁人山本恵造氏より新郎新婦の紹介とそのナレソメのご披露があった。新郎は山本会計事務所勤めるかたわら勉強に励み難関の税理士試験に合格、今は独立して税理士事務所を開業されている。新婦は(株)ダーバンイクシーズの企画部に勤務されたが、学生時代から明るく几帳面な日々を過ごす一方、行動力もある才媛とのこと。

お二人の仲を取り持ったのは植木屋さんとか。きつと花も実もある家庭になるでしょう。(追)新婦はなべが一つあればどんな料理でも出来るとのこと。ぜひお手並を拝見したいものです。

平成元年度 白門会予算案

自 平成元年4月1日
至 平成2年3月31日

| 科目 | 摘要 | 金額 | |
|------|--------|----------------|---------|
| 収入の部 | 年会費 | 2,000円×100名 | 200,000 |
| | 学生会交付金 | 15,000円×2名 | 30,000 |
| | 総会費 | 3,000円×30名 | 90,000 |
| | 寄付 | 諸行事寄付その他 | 120,000 |
| | 特別収入 | 桜まつり、市民祭、バザー | 60,000 |
| | 広告料収入 | 白門会ニュース、名簿 | 40,000 |
| | 前期繰越 | | 202,294 |
| 合計 | | 742,294 | |
| 支出の部 | 印刷費 | ニュース年2回、名簿作成 | 220,000 |
| | 通信費 | 会員連絡、ニュース、名簿送付 | 80,000 |
| | 会議費 | 役員会他 | 50,000 |
| | 総会費 | | 200,000 |
| | 交際費 | 他支部総会祝金他 | 80,000 |
| | 事務用品費 | | 10,000 |
| | 親睦行事費 | 会費不足分補助 | 40,000 |
| | 雑費 | | 50,000 |
| | 予備費 | | 12,294 |
| | 合計 | | 742,294 |

昭和63年度 国立白門会決算書

自 昭和63年4月1日
至 平成元年3月31日

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|----------------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|
| 科目 | 決算 | 予算 | 科目 | 決算 | 予算 |
| 年会費 | 200,000 | 200,000 | 印刷費 | 104,000 | 110,000 |
| 学生会交付金 | 15,000 | 30,000 | 通信費 | 52,290 | 80,000 |
| 100周年募金 報償金 | 58,500 | 0 | 会議費 | 54,745 | 50,000 |
| 総会費 | 114,000 | 90,000 | 総会費 | 216,370 | 180,000 |
| 寄付・祝金 | 143,000 | 110,000 | 交際費 | 55,000 | 110,000 |
| 10周年記念 行事基金 | 490,000 | 500,000 | 10周年記念 行事費 | 400,470 | 500,000 |
| 親睦行事費 | 272,000 | 0 | 事務用品費 | 9,090 | 10,000 |
| 特別収入 | 13,780 | 60,000 | 親睦行事費 | 313,082 | 40,000 |
| 広告料収入 | 5,000 | 20,000 | 雑費 | 40,137 | 50,000 |
| 雑収入 | 11,774 | 0 | 予備費 | 0 | 4,424 |
| 前期繰越金 | 124,424 | 124,424 | 次期繰越金 | 202,294 | — |
| 合計 | 1,447,478 | 1,134,424 | 合計 | 1,447,478 | 1,134,424 |

会計 堀田 勲 (印)
会計監査 穴戸勇勇之 (印)
" 二宮 巍 (印)

六三年度活動報告

厚生部

- 一、納涼会 七月二十三日(土) 水園にて。
- 二、秋の親睦会 十月二十二日(土)北茨城袋田の滝・常陸太田西山荘見学。
- 三、会長杯争奪戦囲碁会 十一月十三日(日)(株)せきや事務室にて。
- 四、ゴルフ・コンペ 十月二十九日(土)相模湖C・Cにて
- 五、新年会 平成元年一月十日(土) 割烹「信濃路」

事業部

- 一、あれこれ考える会 七月二十三日(土)ダイヤパレス集会所にて。
- 二、第十二回くたちサクラフェスティバルに参加。

- 平成元年四月九日(日)谷保第三公園にて。
- 組織部
- 一、学員の把握
- 二、規約の改正
- 三、会員名簿の補充

広報部

- 一、白門ニュース第十七・十八号の発行
- 二、記事取材(親睦会等)
- 三、学員時報への投稿

平成元年度活動予定

厚生部

- 一、春の見学会 六月十日(土)
- 二、納涼会 七月二十二日(土)
- 三、ゴルフ・コンペ十五日(日)

- 四、囲碁大会 十一月十一日(土)
 - 五、新年会 二年一月二十日(土)
- 詳細は二宮 巍 (七二三四六) 風間 (七六二九五)

事業部

- 一、市民まつりへ参加 法律・税務・不動産の無料相談。日常用品のバザー。
- 二、くたちサクラフェスティバルに参加

組織部

- 一、組織の強化。地区連絡員の活用。
- 二、若い世代の会員の活性化

広報部

- 一、白門ニュース第十九・二十号の発行。
- 二、記事取材及び投稿。



あれこれ考える会



秋の親睦会



納涼会